

## L12b 流星痕の輻射点高度別および母流星絶対光度別の、形態分類

比嘉義裕 (日本流星研究会)、戸田雅之 (日本流星研究会)、山本真行 (高知工科大学 電子・光システム工学科)

流星痕は、流星の飛跡に沿って輝く発光雲である。流星痕同時観測 (METRO) キャンペーン事務局は、流星痕の観測例を収集・解析しているが、その成果のひとつとして、史上初めておこなわれた流星痕の形態分類 (Higa, Y., et.al., 2003, Inst. Space Astro. Sci. Sci. Rep. SP, 15, 245-252) がある。このなかで、流星痕の全体像は「一本線形状」と「二本線形状」に分類できた。しかしこれらが、どのような条件で分かれるのかは、いまだ明らかではない。本研究は、METRO キャンペーン事務局が保持しているデータについて、母流星の輻射点高度や絶対光度などの情報を追加検討することで、形態分類の詳細を見出すことを目的とする。